

注3

大学番号：国072

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

福岡教育大学 教育学部

環境教育課程及び芸術課程

注2

事前伺い

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福岡教育大学

平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営政策課 計画・評価室

職名・氏名 主査・塚本^{ツカモト} 憲司^{ケンジ}

電話番号 0940-35-1594

（夜間） 0940-35-1594

FAX 0940-35-1259

e-mail kuneicho@fukuoka-edu.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書⁴の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

＜環境教育課程＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 留意事項等に対する履行状況等	12
7. その他全般的事項	13

＜芸術課程＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	15
2. 授業科目の概要	19
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	25
5. 教員組織の状況	26
6. 留意事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 福岡教育大学

(2) 大 学 名

福岡教育大学

(3) 大学の位置

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
理 事			
学 部 長		該当なし	
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ 様式は、平成24年度開設の4年制の学科の場合（平成27年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 環境教育課程 学士（環境教育）	4年	20人	年次人	80人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 20 (－) [若干名]	人 －	人 20 (－) [若干名]	人 －	人 20 (－) [若干名]	人 －	人 () []	人 () []	1.08倍	倍	
志願者数	147 (－) [1]	－ (－) [－]	138 (－) [1]	－ (－) [－]	148 (－) [1]	－ (－) [－]	() []	() []			
受験者数	106 (－) [1]	－ (－) [－]	97 (－) [1]	－ (－) [－]	97 (－) [1]	－ (－) [－]	() []	() []			
合格者数	26 (－) [0]	－ (－) [－]	25 (－) [0]	－ (－) [－]	25 (－) [1]	－ (－) [－]	() []	() []			
B 入学者数	20 (－) [0]	－ (－) [－]	22 (－) [0]	－ (－) [－]	23 (－) [1]	－ (－) [－]	() []	() []			
入学定員超過率 B／A	1.00		1.10		1.15						

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[-] (-) 20	[-] (-) -	[-] (-) 21	[-] (-) -	[1] (-) 23	[-] (-) -	[] () 	[] () 	※平成25年度入学生1名が環境教育課程（3年次）へ転課程
2 年次			[-] (-) 19	[-] (-) -	[-] (4) 25	[-] (-) -	[] () 	[] () 	
3 年次					[-] (-) 16	[-] (-) -	[] () 	[] () 	
4 年次							[] () 	[] () 	
計							[] () 	[] () 	
	[-] (-) 20		[-] (-) 40		[1] (4) 64				

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	20 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	進路志望の変更 (1人)	5.0%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	22 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	進路志望の変更 (1人)	4.5%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	23 人	0 人	平成27年度	人	人		0.0%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		
合 計	65 人	2 人					3.1%

(注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育学部 環境教育課程>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	環境と物理学	1後	2								兼 1	
	自然環境予測	2後 2前	2								兼 1	開講期の変更(26)
	分析化学	2前	2								兼 1	
	環境とエネルギー	2後	2			1						
	保全生物学	2後	2			1	1					担当教員の職位変更（教授へ昇任） (26)
	自然災害環境	2後	2								兼 1	
	環境生物学	3前	2								兼 1	
	物理学概論	1前		2		1					兼 1	専任教員による担当へ変更(26)
	基礎生物学実験Ⅰ	1前		1		1	1				兼 2	オムニバス 担当教員の職位変更（教授へ昇任） (26)
	基礎化学実験Ⅰ	1前		1		1						
	固体地球科学Ⅰ	1前		2							兼 1	
	化学概論	1前		2			1					
	物理学実験Ⅰ	1後		1							兼 1 2	オムニバスに変更・兼任教員1名追加 (26)
	基礎生物学Ⅰ	1後		2							兼 1	
	地学実験Ⅰ	1後		1		2					兼 1	オムニバス
	電磁気学	2前		2							兼 1	
	遺伝学	2前		2							兼 1	
	物理学実験Ⅱ C	2前		1							兼 1 2	オムニバスに変更・兼任教員1名追加 (26)
	無機化学	2前		2		1						
	植物自然史実験	2前		1		1	1					担当教員の職位変更（教授へ昇任） (26)
	基礎生物学実験Ⅱ	2前		1							兼 2	オムニバス
	基礎生物学Ⅱ	2前		2							兼 1	
	地学実験Ⅱ	2前		1		1					兼 1	オムニバス
	動物生態学	2前		2							兼 1	
	力学Ⅰ	2前		2							兼 1	
	集団遺伝学	2後		2							兼 1	
	解析方法論	2後		2		1						
	自然環境予測演習	2後		1		1						
	発生学実験	2後		1							兼 1	
	環境教育生物実習Ⅰ	2後		1		1	1				兼 1	オムニバス 担当教員の職位変更（教授へ昇任） (26)
	環境と微生物	2後		2							兼 1	
	物理化学	2後		2							兼 1	
	植物生理学実験	2後		1							兼 1	
有機化学	2後		2		1							
力学演習	2後		1							兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加(25)	
電磁気学演習	2後		1							兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加(25)	
天文地球物理学Ⅰ	1後		2							兼 1		
基礎化学実験Ⅱ	2後		1		1	1					オムニバス	
固体地球科学Ⅱ 地球表層環境	2前 2後		2		1					兼 1 2	授業科目名を再検討し、変更(25) 時間割編成の事情により、配当年次 を変更(25) 専任教員（教授）による担当へ変更 (26)	
自然構造論	3前		2							兼 1		
発生学	3前		2							兼 1		
生態学実験	3前		1							兼 1		
環境有機化学実験	3前		1		1							
環境フィールド調査	3前		1		2					兼 1	オムニバス	
環境とホルモン	3前		2							兼 1		
環境情報処理	3前		1							兼 2	オムニバス	
現代地学 A	3前		2							兼 1		
熱・統計力学	3前		2							兼 1		

無機物質環境論	3前	2	1					兼 1	担当教員の職位変更（教授へ昇任） (26)
溶液分析化学	3前	2							
植物形態学	3前	2	1	1					
有機物質環境論	3前	2	1						
天文地球物理学Ⅱ	3前	2						兼 1	授業科目名を再検討し、変更(25)
地下資源開発と環境	3前	2						兼 1	
九州の自然環境	3前	2						兼 1	
マイクロサイズの物理現象	3前	2	1						
力学Ⅱ	3前	2						兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加(25)
物理数学演習	3前	1						兼 1	
環境教育フィールド実習A	3前後	2							
環境教育フィールド実習B	3前後	4							
環境教育フィールド実習C	3前後	2							
遺伝学実験	3後	1						兼 1	
進化生物学	3後	2						兼 1	
環境現象とシミュレーション	3後	1						兼 1	
環境物理化学実験	3後	1						兼 1	
環境教育生物実習Ⅱ	3後	1						兼 2	おんパス
環境の中の音と光	3後	2						兼 1	
現代地学B	3後	2						兼 1	
現代化学Ⅰ	3後	2						兼 1	
量子物理化学	3後	2		1					授業科目名を再検討し、変更(25)
無機分析環境化学実験	3後	1	1						
植物生態学	3後	2						兼 1	
新地学情報	3後	2						兼 1	
地球環境発達史	3後	2	1						
地学ゼミナールA	3後	1	3					兼 2	
熱・統計力学演習	3後	1	1						当該分野の充実を図るために、科目を追加(25)
量子力学演習	3後	1						兼 1	
環境化学セミナー	4前	1	1						当該分野の充実を図るために、科目を追加(25)
現代化学Ⅱ	4前	2						兼 1	
物質環境論	4前	2						兼 1	
核・放射線と環境	4前	2	1						
地学ゼミナールB	4前	1	3					兼 2	
環境化学機器実験	4前 4後	1						兼 1	開講期の変更(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	70	0	77	7	76	0	83	
				[0]	[6]	[0]	[6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容					備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		(例) 校舎敷地と別地 (徒歩○分)	
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		〇〇短期大学と共用	
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		(例) 平成27年4月 専任教授1名を新規 採用のため (27)	
		〇〇学部 〇〇学科			(例) 16 15 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	(	該当なし			()	
(6) 図 書 館		面 積		収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を，設置計画書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお，昨年度の報告において赤字で見え消した部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	福 岡 教 育 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
教育学部	年	人	年次 人	人		倍			
初等教育教員養成課程	4	331	若干名	1293	学士 (教育学)	1.05	平成11年度	福岡県宗像市赤間 文教町1番1号	
中等教育教員養成課程	4	147	若干名	571	学士 (教育学)	1.07	平成11年度	福岡県宗像市赤間 文教町1番1号	
特別支援教育教員養成課程	4	50	—	200	学士 (教育学)	1.06	平成11年度	福岡県宗像市赤間 文教町1番1号	
共生社会教育課程	4	55	若干名	220	学士(福祉 社会教育, 国 際共生教育)	1.11	平成11年度	福岡県宗像市赤間 文教町1番1号	
環境教育課程	4	20	—	60	学士(環境 教育)	1.08	平成25年度	福岡県宗像市赤間 文教町1番1号	
芸術課程	4	27	若干名	81	学士(音楽, 芸術)	1.07	平成25年度	福岡県宗像市赤間 文教町1番1号	
環境情報教育課程	—	—	—	—	学士(情報 教育, 環境教 育)	—	平成11年度	福岡県宗像市赤間 文教町1番1号	平成25年より 学生募集停止
生涯スポーツ芸術課程	—	—	—	—	学士(音楽, 芸術, スポー ツ科学)	—	平成11年度	福岡県宗像市赤間 文教町1番1号	平成25年より 学生募集停止
教育学研究科									
教育科学専攻	2	80	—	160	修士(教育 学)	0.85	平成21年度	福岡県宗像市赤間 文教町1番1号	
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.02	平成21年度	福岡県宗像市赤間 文教町1番1号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(A C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 環境教育課程>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										
専	教授	○○○○ (○○)	平成24年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆ (○○)	平成25年4月	国際経済学	平成25年3月 ○○○教授辞任のため 平成25年度より担当者の 変更(25)
					兼任	講師	◇◇◇ (○○)	平成25年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●● (○○)	平成25年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (○○)	平成25年4月	商 法	該当なし					……………のため、就任が遅延 (25)
専	准教授	□□□□ (○○)	平成26年10月	金 融 論			後任未定			平成26年10月 □□□□准教授就任辞退(27) 「後任未定」平成27年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲ (○○)	平成27年4月	○○○○論	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
8	2	0	0	10	9	1	0	0	10	63	3	63	2
(8)	(2)	(0)	(0)	(10)	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「一」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		留意事項		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<教育学部 環境教育課程>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目 (1 科) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) 学環境を改善するため、講義室、自習室を 部屋 (〇㎡) 増やすとともに、図書も〇〇冊 増書した。

該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (F D活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等	該当なし
---	------

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・平成27年5月1日 公表

該当なし

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成27年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成27年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成27年6月頃)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 福岡教育大学

(2) 大 学 名

福岡教育大学

(3) 大学の位置

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
理 事			
学 部 長		該当なし	
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ 様式は、平成24年度開設の4年制の学科の場合（平成27年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 芸術課程 学士（音楽） 学士（芸術）	4	27	年次 人	108	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 27 (－) [若干名]	人 －	人 27 (若干名) [若干名]	人 －	人 27 (若干名) [若干名]	人 －	人 () []	人 －	1.07倍	倍	
志願者数	112 (－) [2]	－ (－) [－]	100 (1) [1]	－ (－) [－]	78 (1) [1]	－ (－) [－]	() () []	() () []			
受験者数	102 (－) [1]	－ (－) [－]	100 (1) [1]	－ (－) [－]	75 (1) [1]	－ (－) [－]	() () []	() () []			
合格者数	29 (－) [0]	－ (－) [－]	32 (0) [0]	－ (－) [－]	31 (0) [0]	－ (－) [－]	() () []	() () []			
B 入学者数	28 (－) [0]	－ (－) [－]	30 (0) [0]	－ (－) [－]	29 (0) [0]	－ (－) [－]	() () []	() () []			
入学定員超過率 B／A	1.03		1.11		1.07						

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について **外数** で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出** してください。なお、計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入** してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[－] (－) 28	[－] (－) －	[－] (－) 30	[－] (－) －	[－] (－) 29	[－] (－) －	[] () －	[] () －	※平成25年度入学生1名は中等教育教員養成課程へ転課程
2 年次			[－] (－) 28	[－] (－) －	[－] (1) 31	[－] (－) －	[] () －	[] () －	
3 年次					[－] (－) 26	[－] (－) －	[] () －	[] () －	
4 年次							[] () －	[] () －	
計							[] () －	[] () －	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	28 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	30 人	0 人	平成26年度	人	人		0.0%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	29 人	0 人	平成27年度	人	人		0.0%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		
合 計	87 人	0 人					0

(注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。〔途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。〕
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合（％）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育学部 芸術課程>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目 (音 楽 コ ー ス)	声楽基礎演習 A	1前		2							兼 1
	声楽基礎演習 B	1後		2							兼 1
	声楽表現演習 A	1前		2		1					
	声楽表現演習 B	1後		2		1					
	声楽特殊研究 I	2前		2							兼 1
	声楽特殊研究 II	2後		2							兼 1
	声楽特殊研究 III	3前		2		1					
	声楽特殊研究 IV	3後		2		1					
	ソルフェージュ I ソルフェージュ	1前	2			1					当該分野の科目増設に伴い、授業科目名を再検討し、変更(25)
	ソルフェージュ II	1後		2		1					当該分野の充実を図るために、科目を追加(25)
	声楽アンサンブル・ 舞台発声法 A	2後		2							兼 1 隔年開講
	声楽アンサンブル・ 舞台発声法 B	2後		2							兼 1 隔年開講
	オペラアンサンブル A	3前		2		1					隔年開講
	オペラアンサンブル B	3前		2		1					隔年開講
	合唱	2後	2								兼 1
	伝統声楽	3前		1							兼 2 オムニバス
	ピアノ基礎 I ピアノ I	1前		2			+				兼 1 授業科目名を再検討し、変更(25) 兼任教員による担当へ変更(27)
	ピアノ基礎 II ピアノ II	1後		2			+				兼 1 授業科目名を再検討し、変更(25) 兼任教員による担当へ変更(27)
	ピアノ技巧演習 A	2前		2			+				兼 1 兼任教員による担当へ変更(27)
	ピアノ技巧演習 B	2後		2							兼 1
	ピアノ技巧演習 C	3前		2							兼 1
	ピアノ表現演習 A	2前		2		1					
	ピアノ表現演習 B	2後		2		1					
	ピアノ表現演習 C	3前		2		1					
	ピアノ技巧論	3後		2							兼 1
	ピアノ表現論	3後		2		1					
	管弦楽器 A 管弦楽器 I	1前		2							兼 1 授業科目名を再検討し、変更(25)
	管弦楽器 B 管弦楽器 II	1後		2							兼 1 授業科目名を再検討し、変更(25)
	管弦楽器技巧演習	2前		2							兼 1
	管弦楽器表現演習	2後		2							兼 1
	管弦楽器技巧論	3前		2							兼 1
	管弦楽器表現論	3後		2							兼 1
	器楽アンサンブル I	3前		2			+				兼 1 兼任教員による担当へ変更(27)
	器楽アンサンブル II	3後		2							兼 1
	オーケストラ入門 A	1前		1							兼 1 隔年開講
	オーケストラ入門 B	1前		1							兼 1 隔年開講
	オーケストラ A	3前		1							兼 1 隔年開講
	オーケストラ B	3前		1							兼 1 隔年開講
	伴奏法	3前		2			+				兼 1 兼任教員による担当へ変更(27)
	邦楽器	3後		1							兼 1
	指揮法	2後		2							兼 1
	音楽理論基礎	1前	2								兼 1
	和声学 I	1後	2			1					
	和声学 II	2前	2			1					
	作曲法 I	2後		2		1					

	作曲法Ⅱ	3前		2		1						
	作曲基礎技法Ⅰ	1前		2		1						
	作曲基礎技法Ⅱ	1後		2		1						
	作曲基礎技法Ⅲ	2前		2		1						
	作曲技法研究	3後		2		1						
	編曲法	3後		2		1						
	楽式論	2前		2						兼	1	
	西洋音楽史	1後	2							兼	1	
	西洋音楽史詳論	2後	2							兼	1	
	日本東洋音楽史Ⅰ	2前		2						兼	1	
	日本東洋音楽史Ⅱ	2後		2						兼	1	
	音楽史特殊研究A	3前		2						兼	1	隔年開講
	音楽史特殊研究B	3前		2						兼	1	隔年開講
	楽曲研究	3前		2						兼	1	
	マルチメディア	3前		2		1						
	音楽研究論	3後		2						兼	2	オムニバス
	近現代音楽論	3後		2		1				兼	1	オムニバス
	演奏学ゼミ	4前		2		3	+			兼	3	専任教員(教授)及び兼任教員による 担当へ変更(27)
	インターンシップA	3前後		2								
専門科目（美術コース）	絵画基礎A（デッサン）	1前	2				1	±				担当教員の職位変更（准教授へ昇任）(26)
	絵画基礎B（水彩）	1後	2							兼	1	
	油彩画A（静物）	2後		3			1	±				※講義 担当教員の職位変更（准教授へ昇任）(26)
	油彩画B（人物）	3前		3			1	±				※講義 担当教員の職位変更（准教授へ昇任）(26)
	日本画	3後		3						兼	2	オムニバス ※講義
	水彩画A 水彩画	2前 4前	2 3							兼	1	※講義 当該分野の科目増設に伴い、授業科目名・配当年次・単位数を再検討し、変更(25)
	水彩画B	3前		2						兼	1	当該分野の充実を図るために、科目を追加(25)
	版画A	3前		3						兼	1	※講義
	彫刻基礎A（デッサン）	1前	2			1						
	彫刻基礎B（塑像）	1後	2			1				兼	1	専任教員1名追加(27)
	木彫	2後		3		1						※講義
	石彫	3前		3						兼	1	※講義
	素材彫刻	3後		3						兼	1	※講義
	人体習作	4前		3						兼	1	※講義
	構成デザイン基礎A（平面）	1後	2							兼	1	
	構成デザイン基礎B（立体）	2前	2			1						
	構成デザイン理論	1前		2		1				兼	1	オムニバスに変更 兼任教員1名追加(26)
	色彩学	1前		2						兼	1	
	立体表示	1後		2		1						
	環境造形	3前		3		1				兼	1	※講義 専任教員（教授）による担当へ変更(26)
	ビジュアルデザイン	2後		3						兼	2	オムニバス ※講義
	プロダクトデザイン	3後		3						兼	2	オムニバス ※講義
	工芸基礎B（金工）	2前	2			1						
	工芸理論	3後		2		1						
	窯芸	2後		3						兼	1	※講義
	金工	3前		3		1						※講義
	木材工芸	3後		3						兼	1	※講義
	染織工芸	3前		3						兼	1	※講義
	日本美術史	1前 1後 1後	2							兼	1	開講期の変更(27)
	西洋美術史	1前	2							兼	1	開講期の変更(27)
	日本美術鑑賞 古美術研究	2前		3						兼	1	※演習 授業科目名を再検討し、変更(25)
	美術理論	3後	2							兼	1	
	メディア&アート マネジメント	3前		2						兼	1	隔年開講
	表装演習	3前		1						兼	2	オムニバス

	美術課題研究Ⅰ	3後	2			2	1	1		兼 4 5	兼 担教員 1 名追加(26)
	美術課題研究Ⅱ	4前	2			2	1	1		兼 4 5	兼 担教員 1 名追加(26)
	インターンシップA	3前後		2							
	インターンシップB	3前後		4							
	インターンシップC	3前後		2							
	版画B	3後		2						兼 1	隔年開講 ※講義
	工芸基礎A（窯芸）	2前		2						兼 1	
	篆・隸書法	2前		2						兼 1	※講義
	篆刻研究	2後		2						兼 1	
	墨彩	3後		2						兼 2	隔年開講 オムニバス
	工芸書	3前		2						兼 1	隔年開講
	文字学	3前		2						兼 1	隔年開講
	書美をさぐる	2後		2						兼 1	隔年開講
専 門 科 目 （ 書 美 コ ー ス	書の美A	1前	2			1					※講義
	書の美B	1後	2				1				※講義
	篆・隸書法	2前	2			1					※講義
	書道特別研究A	2前	2							兼 1	※講義
	書道史Ⅰ	2前	2				1				
	書道特別研究B	2後	2							兼 1	※講義
	篆刻研究	2後	2			1					
	創作研究	3前	2				1			兼 1	オムニバス ※講義
	書式研究	3後	2			1					
	書論・鑑賞A	3後	2							兼 1	当該分野の科目増設に伴い、授業科目名を再検討し、変更(25)
	書論・鑑賞B	3後		2						兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加(25)
	生涯学習と書	3後	2			1					
	書美特演	3後	2			1	1				
	書制作	4前	2			1	1				オムニバス
	書作実践研究B	1後		1						兼 1	隔年開講
	書道学外演習A	1・2後		2						兼 2 1	隔年開講 兼担教員1名による担当へ変更(26)
	書表現と鑑賞	2・3前		2						兼 1	隔年開講
	古筆研究	2・3前		2			1				隔年開講
	書美をさぐる	2・3後		2						兼 1	隔年開講
	篆・隸書演習	2・3後		2						兼 1	隔年開講
	行・草書演習	3・4前		2						兼 1	隔年開講
	工芸書	3・4前		2						兼 1	隔年開講
	書学講義	3・4前		2						兼 1	隔年開講
	文字学	3・4前		2						兼 1	隔年開講
	表装演習	3前		1			1			兼 1	オムニバス
	書道教材研究	4前		1			1			兼 1	当該分野の充実を図るために、科目を追加(25)
	書道文房概論	3・4後		2						兼 1	隔年開講
	墨彩	3・4後		2						兼 2	隔年開講・オムニバス
	書道史Ⅱ	3・4後		2						兼 1	隔年開講
	近現代の書	3・4後		2						兼 1	隔年開講
	インターンシップA	3前後		2							
	インターンシップB	3前後		4							
	楷書法	1前		2						兼 1	※講義
	仮名書法	1前		2			1				※講義
	行・草書法	1後		2						兼 1	※講義
	漢字仮名交じり書法	2後		2			1				
	書作実践研究A	1前		1						兼 1	
	書道学外演習B	1・2前		2			1			兼 1	隔年開講
	国文学概論	1前		2						兼 1	
	国文学史	2後		2						兼 1	
	中国古典学講義A	3前		2						兼 1	
	中国古典学講義B	3後		2						兼 1	
	古典文学講読	1後		2						兼 1	
	近代文学概論	1前		2		1					
	中国古典学概論	1後		2						兼 1	
	中国近代文学講義	1後		2						兼 1	
	構成デザイン理論	1前		2						兼 1 2	オムニバスに変更・兼担教員1名追加(26)

色彩学	1前	2							兼 1
日本美術史	1前 1後	2							兼 1 開講期の変更(27)
西洋美術史	1前 1後	2							兼 1 開講期の変更(27)
メディア&アート マネジメント	3・4前	2							兼 1 隔年開講
美術理論	3後	2							兼 1
工芸理論	3後	2							兼 1

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	128	0	160	32	132	0	164	
				[0]	[4]	[0]	[4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、「[]」内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩○分)			
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²				
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²				
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²				
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²				
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成27年4月 専任教授1名を新規 採用のため (27)			
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 15 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		〇〇学部	()	()	()	()	()		()
		計	()	()	()	()	()		()
	該当なし								
(6) 図 書 館		面 積		収 納 可 能 冊 数					
		m ²							
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²							
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を，設置計画書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお，昨年度の報告において赤字で見え消した部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	福 岡 教 育 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
教育学部	年	人	年次 人	人		倍			
初等教育教員養成課程	4	331	若干名	1293	学士 (教育学)	1.05	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
中等教育教員養成課程	4	147	若干名	571	学士 (教育学)	1.07	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
特別支援教育教員養成課程	4	50	—	200	学士 (教育学)	1.06	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
共生社会教育課程	4	55	若干名	220	学士(福祉社会教育, 国際共生教育)	1.11	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
環境教育課程	4	20	—	60	学士(環境教育)	1.08	平成25年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
芸術課程	4	27	若干名	81	学士(音楽, 芸術)	1.07	平成25年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
環境情報教育課程	—	—	—	—	学士(情報教育, 環境教育)	—	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	平成25年より 学生募集停止
生涯スポーツ芸術課程	—	—	—	—	学士(音楽, 芸術, スポーツ科学)	—	平成11年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	平成25年より 学生募集停止
教育学研究科									
教育科学専攻	2	80	—	160	修士(教育学)	0.85	平成21年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.02	平成21年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(A C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
- ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 芸術課程>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										
専	教授	○○○○ (○○)	平成24年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆ (○○)	平成25年4月	国際経済学	平成25年3月 ○○○教授辞任のため 平成25年度より担当者の 変更(25)
					兼任	講師	◇◇◇ (○○)	平成25年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●● (○○)	平成25年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (○○)	平成25年4月	商 法	該当なし					……………のため、就任が遅延 (25)
専	准教授	□□□□ (○○)	平成26年10月	金 融 論			後任未定			平成26年10月 □□□□准教授就任辞退(27) 「後任未定」平成27年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲ (○○)	平成27年4月	○○○○論	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
9	1	1	0	11	9	2	0	0	11	63	1	63	1
(9)	(2)	(0)	(0)	(11)	[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「一」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		留意事項		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<教育学部 芸術課程>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目 (1 科) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) 学環境を改善するため、講義室、自習室を 部屋 (〇㎡) 増やすとともに、図書も〇〇冊 増書した。

該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (F D活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等	該当なし
---	------

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・平成27年5月1日 公表

該当なし

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成27年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成27年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成27年6月頃)